

タカネトンボ

Somatochlora uchidai

兵庫県：要調査

環境省： —

種の概要

腹長36～42mm、後翅長36～42mm程度。体色は金属光沢を有する緑色で、黄色部は同属の他種よりも少ない。丘陵地から山地の樹林に囲まれた池沼や水溜りなどに生息し、幼虫は水底に堆積した落葉などの間に潜んでいる。成虫は6月～10月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、芦屋市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、市川町、福崎町、神河町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○					

特記事項

要注目種から要調査種へ変更
かつては各地で普通に見られた種であるが、各生息地から姿を消したり個体数が減少したりと、減少傾向が見られる。一方で、新たにその姿が観察される例もある。新規の生息場所探索を中心に、分布実態をもう少しつかむ必要がある。

保護上の留意点